

言語分野

<2022年度 論理的思考力&発想力入試> (50分) <満点:100点>

(解答)

[問題一]エ

[問題二]個人が自分の時間と労力を自分の思い通りに配分できる社会

[問題三]不便であることが人間の身体と気持ちによい影響をあたえるという点

[問題四]便利さを追求しすぎると、自分がやることの喜びが奪われることがある(ということ)

[問題五](1)離島で実践されている、宅配業者が港まで配達してくれる荷物を住民が取りに行くという事例。

(2)住民が港まで荷物を取りに行かなければならないという不便さによって、高齢者の健康が維持され、孤立を防ぐことができるという益をもたらす。

[問題六] (解答例)

クーラーや暖房をずっとつけているため、地球環境に良くないという点。／従業員の深夜労働が健康によくないという点。／深夜でも照明がついていることで、近くの住民の睡眠の妨げになるという点。／いつでも買い物ができるという安心感が生まれることで、消費者の生活リズムがくずれてしまうという点。

[問題七] (解答例を以下に載せる)

文章Ⅰにある通り、自分の時間と労力を思い通りに配分できると、価値の高い充実した生き方ができると思います。しかし文章Ⅱを読むと、不便さにも良さがあり、便利さにも問題点があるということがわかります。私自身、次のような経験があります。私は習い事に母の車で行っていましたが、ある時車が故障して自転車で行くことになりました。最初は車がないと不便だと思いましたが、ふだんは気付かない景色を楽しむことができました。すべて自分の思い通りにしていると、不便のよさに気付く機会がなくなってしまいます。また、現在深刻な問題となっている地球温暖化の原因の一つに、化石燃料の使用があると聞きました。これは人間が便利さを追求した結果だと思えます。以上の理由から、私は、不便を楽しむことができ、便利さの問題点に気付いた時に後戻りできるような社会、そのようなゆとりを持って便利さを取り入れる社会であることが望ましいと思います。(397字)